



第182号

(昭和53年7月)

目次

関係法令..... 1

学内規則..... 1

  富山大学事務組織規則の一部改正..... 1

  富山大学警務員服務規則の一部改正..... 2

  富山大学放射性同位元素総合実験室運営規則の一部改正..... 2

  富山大学文理学部規則の一部改正..... 2

  富山大学人文学部規則の一部改正..... 3

  富山大学理学部規則の一部改正..... 5

  富山大学工学部構内交通規制に関する暫定要項の制定..... 7

諸会議..... 8

人事異動..... 9

学内諸報..... 9

  海外渡航者..... 9

  学内レクリエーション..... 10

訃報..... 10

職員消息..... 10

主要日誌..... 10

関係法令

(官報掲載月日)

規則

○職員 の 保健 及び 安全 保持 の 一部 を 改正 する 規則  
(人事院10-4)

7・14

学内規則

富山大学事務組織規則の一部改正

富山大学事務組織規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和53年7月1日

富山大学長 林 勝次

富山大学事務組織規則の一部を改正する規則

富山大学事務組織規則(昭和39年1月1日制定)の一部を次のように改正する。

第7条第13号を次のように改める。

(13) 学内の警備取締り及び構内交通規則に関すること。

附則

この規則は、昭和53年7月1日から施行する。

## 富山大学警務員服務規則の一部改正

富山大学警務員服務規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和53年7月1日

富山大学長 林 勝次

### 富山大学警務員服務規則の一部を改正する規則

富山大学警務員服務規則（昭和39年2月12日制定）の一部を次のように改正する。

この規則中「および」を「及び」に、「または」を「又は」に、「取扱」を「取扱い」に、「申しおくらなければならない」を「申し送らなければならない」に、「取締」を「取締り」に、「立ち入らせてはならない」を「立ち入らさせてはならない」に、「行ない」を「行い」に、「行なう」を「行う」に、「処置をとる」を「処置を執る」に、「戸締」を「戸締り」に、「取調べる」を「取り調べる」に改める。

第9条の次に、次の1条を加える。

**第9条の2** 門衛勤務者は、正門又は通用門において学内の交通整理を行うとともに、適宜、駐車許可証等の確認をしなければならない。

第12条の次に、次の1条を加える。

**第12条の2** 巡視勤務者は、学内交通規制に違反した者又は車両に対して、口頭の注意又は注意書の貼付等必要な措置を執らなければならない。

#### 附 則

この規則は、昭和53年7月1日から施行する。

## 富山大学放射性同位元素総合実験室運営規則の一部改正

富山大学放射性同位元素総合実験室運営規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和53年7月5日

富山大学長 林 勝次

### 富山大学放射性同位元素総合実験室運営規則の一部を改正する規則

富山大学放射性同位元素総合実験室運営規則（昭和40年4月22日制定）の一部を次のように改正する。

第6条第1項第2号中「文理学部、教育学部、」を「教育学部、理学部、」に改める。

#### 附 則

この規則は、昭和53年7月5日から施行する。

## 富山大学文理学部規則の一部改正

富山大学文理学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和53年7月21日

富山大学長 林 勝次

### 富山大学文理学部規則の一部を改正する規則

富山大学文理学部規則（昭和26年9月7日制定）の一部を次のように改正する。

この規則中、「おく」を「置く」に、「および」を「及び」に、「または」を「又は」に、「表わし」を「表し」に、「行なう」を「行う」に、「ならびに」を「並びに」に、「行なうこと」を「行うこと」に改める。

別表(2)中、理学専攻科の表を削る。

#### 附 則

この規則は、昭和53年7月21日から施行する。ただし、別表(2)の改正については、昭和53年4月1日から適用する。

### 富山大学人文学部規則の一部改正

富山大学人文学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和53年7月21日

富山大学長 林 勝次

#### 富山大学人文学部規則の一部を改正する規則

富山大学人文学部規則（昭和52年5月16日制定）の一部を次のように改正する。

第15条の次に、次の1条を加える。

（教員免許状）

**第15条の2** 教員免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、その授与を受けようとする免許状の種類に従い、別に定める所定の授業科目の単位を修得しなければならない。

別表中人文学科の表を次のように改める。

（別表）

#### 授業科目及び単位数

人文学科

※印は再掲授業科目を示す

授業科目	単位数	必修	選択	授業科目	単位数	必修	選択
哲学概論	2	2		西洋哲学史演習	4		4
西洋哲学史概説	2	2		西洋哲学史講読	4		4
史学概論	2	2		比較思想	4		4
人文地理学概論	2	2		※日本思想史	2		2
文化人類学概論	2	2		※東洋思想史	2		2
日本思想史	2	6		※西洋思想史	2		2
中国思想史	2		日本史概説	6		6	
東洋思想史	2		日本史特殊講義	8		8	
西洋思想史	2		日本文化史	2		2	
日本史学史	2		※日本史学史	2		2	
中国史学史	2		古文書学	4		4	
西洋史学史	2		日本史史料講読	2		2	
※哲学概論	2		2	日本史学演習	6		6
哲学特殊講義	8		8	東洋史概説	6		6
哲学演習	4		4	東洋史特殊講義	8		8
哲学講読	4		4	※中国史学史	2		2
論理学	4		4	東洋文化史	2		2
倫理学	4		4	朝鮮史	2		2
美学	4		4	東洋史史料講読	4		4
宗教学	4		4	東洋史学演習	6		6
心理学	4		4	西洋史概説	6		6
※西洋哲学史概説	6		6	西洋史特殊講義	8		8
西洋哲学史特殊講義	8		8	※西洋史学史	2		2

授 業 科 目	単位数	必 修	選 択	授 業 科 目	単位数	必 修	選 択
西 洋 古 典 語	4		4	文 化 人 類 学 演 習	6		6
西 洋 史 史 料 講 読	4		4	言 語 学 概 論	4		4
西 洋 史 学 演 習	6		6	言 語 学 特 殊 講 義	12		12
西 洋 文 化 史	2		2	音 声 学	2		2
考 古 学 概 論	4		4	文 献 学	2		2
考 古 学 特 殊 講 義	6		6	言 語 学 演 習	6		6
金 石 文 学	2		2	日 本 文 化 論	2		2
地 史 学	2		2	日 本 文 化 特 殊 講 義	4		4
博 物 館 学	2		2	日 本 文 化 演 習	2		2
考 古 学 実 習	6		6	伝 統 文 化 演 習	2		2
考 古 学 演 習	4		4	日 本 共 能 史	2		2
※人 文 地 理 学 概 論	2		2	東 洋 文 化 論	2		2
人 文 地 理 学 特 殊 講 義	6		6	東 洋 文 化 特 殊 講 義	4		4
地 理 学 史	2		2	東 洋 文 化 演 習	2		2
自 然 地 理 学	4		4	ア ジ ア 事 情	2		2
地 誌 学	4		4	西 洋 文 化 論	2		2
地 図 学	2		2	西 洋 文 化 特 殊 講 義	4		4
人 文 地 理 学 実 習	4		4	西 洋 文 化 演 習	2		2
人 文 地 理 学 演 習	4		4	欧 米 事 情	2		2
※文 化 人 類 学 概 論	2		2	美 術 史	6		6
文 化 人 類 学 特 殊 講 義	6		6	法 制 史	2		2
先 史 人 類 論	2		2	経 済 史	2		2
民 族 誌	4		4	比 較 文 化 論	2		2
民 俗 学	4		4	比 較 文 化 特 殊 講 義	4		4
文 化 社 会 学	4		4	比 較 文 化 演 習	4		4
人 間 生 態 学	4		4	卒 業 論 文	10		10

備考 他学部 of 専門教育科目のうちから選択履修したのも自由選択科目として、卒業に必要な単位数に数えることができる。

別表 語学文学科の表中、

「| 中国思想史 | 4 | | 4 |」

を

「| ※中国思想史 | 2 | | 2 |」に、

「| 英 会 話 | 4 | | 4 |」

を

「| 英 会 話 | 4 | | 4 |」  
「| 米 会 話 | 4 | | 4 |」

「| 英語学演習 | 2 | | 2 |」

を

「| 英語学演習 | 4 | | 4 |」に、

ロシア文法	4	4
ロシア語史	2	2
ロシア語作文	4	4
ロシア語会話	6	6
ロシア語学特殊講義	10	10
ロシア語学演習	4	4
※ロシア文学史	6	6
※ロシア文学講読	8	8
ロシア文学特殊講義	10	10

を

ロシア文法	2	2
ロシア語史	4	4
ロシア語作文	2	2
ロシア語会話	2	2
ロシア語学特殊講義	6	6
ロシア語学講読	4	4
ロシア語学演習	4	4
※ロシア文学史	4	4
※ロシア文学講読	6	6
ロシア文学特殊講義	8	8

に、

フランス文学史	2	2
フランス文学講読	2	2

を

フランス文学講読	4	4
----------	---	---

改める。

**附 則**

この規則は、昭和53年10月1日から施行する。

**富山大学理学部規則の一部改正**

富山大学理学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和53年7月21日

富山大学長 林 勝次

**富山大学理学部規則の一部を改正する規則**

富山大学理学部規則（昭和52年5月16日制定）の一部を次のように改正する。

別表中、数学科の表の関連選択科目の欄中、

「地球物理学 | 2 ||」を削り、

「計 | 47 ||」を「計 | 45 ||」に改める。

別表中、物理学の表の専攻科目の欄中、

「光学特論 | 1 |」を「光学特論 | 1 |  
レーザー理論 | 2 |」に、

「計 | 52 | 38 ||」を「計 | 52 | 40 ||」に改める。

同関連選択科目の欄中、

「化学実験 | 1 ||」を「化学基礎実験 | 1 ||」に、

「生物学実験 | 1 ||」を「生物学基礎実験 | 1 ||」に、

地球物理学	2	を	数値計算法	2	に改める。
地質鉱物学	2		一般地質学	2	
雪氷物理学	2		雪氷物理学	2	
地質鉱物学実験	1		地球科学基礎実験	1	

別表中、化学の表の専攻科目の欄中、

「化学実験 | 1 ||」を「化学基礎実験 | 1 ||」に改める。

同関連選択科目の欄中、

「生物学実験 | 1 ||」を「生物学基礎実験 | 1 ||」に、

地質鉱物学実験	1	を	一般地質学	2	に改める。
地球物理学通論	2		地球科学	2	
地質鉱物学	2		地球科学基礎実験	1	

別表中、生物学科の表の専攻科目の欄中、

「生物学実験 | 1 ||」を「生物学基礎実験 | 1 ||」に改める。

同関連選択科目の欄中

「化学実験」1を「化学基礎実験」1に、  
 「地球物理学通論」2  
 「地質鉱物学」2を「一般地質学」2  
 「陸水学(地球科学科)」2「地球化学」2に改める。  
 「地質鉱物学実験」1「陸水学(地球科学科)」2  
 「地球科学基礎実験」1

別表中、地球科学科の表を次のように改める。

専攻科目	単位数		関連選択科目	単位数	自由選択科目
	必修	選択			
地殻構造論	2		線形代数学	2	他学科及び他学部の専門教育科目のうちから選択するものとする。ただし、専攻科目の選択科目のうちからも選択することができ。
地球物理学通論	2		数値解析学	4	
数値計算法	2		物理学基礎実験	1	
岩石磁気学		2	原子物理学序説	2	
地震学Ⅰ		2	物性論序説	2	
地震学Ⅱ		2	物理数学	4	
気象学		1	物理数学演習	2	
物理探査法		1	力学	4	
地球物理学実験Ⅰ	1		電磁気学	4	
地球物理学実験Ⅱ		1	連続体の力学	2	
地殻進化学Ⅰ	2		磁性	2	
地殻進化学Ⅱ		2	電波天文学	1	
一般地質学		2	物理実験学	2	
岩石学Ⅰ	2		化学基礎実験	1	
岩石学Ⅱ		2	基礎物理化学	2	
層序学		2	基礎有機化学	2	
鉱物学		2	分析化学	2	
地質調査Ⅰ	2		無機化学	2	
地質調査Ⅱ		6	化学平衡論	2	
岩石学実験Ⅰ	1		生物学基礎実験	1	
岩石学実験Ⅱ		1	基礎形態学	2	
地質学実験	1		基礎生理学	2	
古生物学		2	細胞生物学	1	
鉱床学実験		1	資源生物学	1	
地質野外巡検Ⅰ	1		環境生物学	1	
地質野外巡検Ⅱ		2	公害科学	1	
陸水学	2				
水圏物質代謝	2				
陸水化学		2			

同位体化学		2			
地球化学	2				
資源化学		2			
海洋学		2			
水質分析実験	2				
雪氷物理学	2				
雲物理学	2				
X線結晶学		2			
防雪工学		1			
流動学		2			
雪氷学実験	2				
地球科学基礎実験		1			
論文講読 I		1			
論文講読 II	4				
卒業論文	12				
計	46	46	計	52	7

卒業に必要な単位数

専攻必修46単位（卒業論文12単位含む）、専攻選択15単位、関連選択10単位、自由選択7単位、合計78単位

#### 附 則

この規則は、昭和53年7月21日から施行し、昭和53年7月1日から適用する。

### 富山大学工学部構内交通規制に関する暫定要項の制定

富山大学工学部構内交通規制に関する暫定要項を次のとおり制定する。

昭和53年7月21日

富山大学長 林 勝次

#### 富山大学工学部構内交通規制に関する暫定要項

(目的)

**第1条** この要項は、富山大学工学部（以下「本学部」という。）構内における車両（自動車、自動二輪車、原動機付自転車等をいう。以下同じ。）の交通に関し、暫定的規制を行い、構内における歩行者の安全と教育研究のための環境保全を図ることを目的とする。

(入構資格)

**第2条** 本学部に入構できる車両は、次に掲げるものとする。

- (1) 本学部の教育研究及び事務に必要な車両
- (2) 職員の通勤及び学生の通学上必要な車両
- (3) 本学部用務をもって来学する車両（以下「外来車」という。）
- (4) その他本学部が特に必要と認める車両

2 本学部用務のない車両は、構内を通過し、又は駐車することができない。

(運行規制)

**第3条** 本学部構内で車両を運行する者は、定められた交通方法と交通徳を守り、歩行者の安全と騒音防止に努めなければならない。

2 本学部構内を運行する車両の最高速度は、20キロメートル毎時とする。

3 本学部構内に区間及び時間等を定め、標識により一方通行、進入禁止及び駐車禁止の措置を執ることができる。

(駐車登録)

**第4条** 第2条第1項第1号及び第2号により入構し、駐車をしようとする者は、あらかじめ車両駐車登録書を工学部長に提出し、駐車登録証を受けなければならない。

2 第2条第1項第3号により入構し、駐車をしようとする者は、所定の登録手続を経て、一時駐車登録証を受けなければならない。

3 前2項の規定により駐車登録した者は、駐車登録証を車両の指定された箇所に表示しなければならない。

(駐車禁止区域等)

**第5条** 本学部玄関前は、公用車、外来車及び図書物品等の運搬のため、やむを得ず運行が必要な車両に限り、一時駐車することができる。

2 消火栓及び消防用防火水槽から5メートルの範囲内に駐車することができない。

(駐車場)

**第6条** 構内に駐車場を設置し、別に定める方法により使用させる。

(駐車規制)

**第7条** 第4条の規定により駐車登録した車両は、所定の駐車場以外に駐車してはならない。ただし、所定の駐車場が満車のときは、当分の間、駐車禁止区域以外の場所に駐車することができる。

(冬期積雪等特別対策)

**第8条** 積雪時並びに本学部の行事等のため、期間を定めて第2条乃至7条の規定にかかわらず、別段の定めをすることができる。

(交通指導員)

**第9条** 工学部長は、駐車規制等の対策を円滑に実施するため、本学部に所属する職員のうちから若干名の交通指導員を委嘱するものとする。

(違反規制)

**第10条** 警務員及び交通指導員は、違反者に対して口頭の注意、注意書の貼付等必要な措置を執るものとする。

(緊急自動車等の特例)

**第11条** この要項は、緊急自動車等については適用しないものとする。

(改正の手続)

**第12条** この要項を改正しようとするときは、富山大学構内交通対策委員会(以下「委員会」という。)の議を経るものとする。

(疑義の決定)

**第13条** この要項について疑義のあるときは、委員会がこれを決定する。

(細目)

**第14条** この要項の実施のため、必要な手続等は、委員会の議を経て別に定めるものとする。

(事務)

**第15条** この要項の実施に関する事務は、工学部事務部において行う。

附 則

この要項は、昭和53年10月1日から実施する。

## 諸 会 議

昭和53年度第5回評議会(7月21日)

(審議事項)

- (1) 富山大学文理学部規則の一部改正について
- (2) 富山大学人文学部規則の一部改正について
- (3) 富山大学理学部規則の一部改正について

(4) 富山大学工学部構内交通規制に関する暫定要項の制定について

(5) 昭和54年度富山大学入学者選抜に関する要項について

イ 学部・学科等の内容及び入学定員

ロ 入学者選抜方法等

ハ 学力検査実施教科・科目

(6) 昭和54年度入学試験問題作成主任委員について



## 人事異動

異動区分	発令年月日	氏名	異動前の所属官職	異動内容	任命権者
採用	53. 7. 1	石川 裕史		文部事務官(学生課)	富山大学長
	53. 7. 17	永川 智子		事務補佐員(薬学部)	"
	53. 7. 28	川口 幸子		技能補佐員(工学部電話交換手)	"
臨時的任用	53. 7. 11	稲垣 千鳥		教諭(教育学部附属養護学校)	富山大学長
昇任	53. 7. 1	長谷川 淳	講師(工学部)	助教授(工学部)	文部大臣
	"	五嶋 孝仁	" ( " )	" ( " )	"
	"	竹下 義美	文部事務官(学生課)	学生課教務係教務主任	富山大学長
配置換	53. 7. 15	越村 礼子	事務補佐員(附属図書館)	事務補佐員(庶務部庶務課)	富山大学長
	"	藤田 洋子	" (薬学部)	" (附属図書館)	"
併任	53. 7. 1	堀川 力三	助手(富山医科薬科大学薬学部)	助手(薬学部)	富山大学長
	"	橋本 竹二郎	文部技官( " 研究協力課)	文部技官(薬学部)	"
	"	栗山 政彦	" ( " " )	" ( " )	"
	"	堀 春男	" ( " " )	" ( " )	"
退職	53. 7. 1	波多 宣子	事務補佐員(教養部)	6月30日限り退職	富山大学長
辞職	53. 7. 1	石川 裕史	事務補佐員(学生課)	辞職承認	富山大学長

## 学内諸報

### 海外渡航者

氏名	所属	官職	渡航の種類	渡航先国	目的	期間
奥原 宇	教養部	助教授	外国出張	イギリス	エセックス大学における語学講習会等参加	53. 7. 3 } } 53. 9. 20
笹山 雄一	理学部	助手	外国出張	アメリカ	脊椎動物におけるCa代謝の内分泌学的研究	53. 7. 21 } } 54. 7. 20
丸山 茂徳	教育学部	助手	海外研修旅行	ソビエト連邦, スイス, イギリス	第4回オ フォライト国際会議出席, 1 M 国際鉱物学会参加及びアル プ地域の地質の研究	53. 7. 27 } } 53. 9. 14
藤本 幸夫	人文学部	助教授	外国出張	韓国	朝鮮書誌学・語学研究	53. 7. 29 } } 53. 8. 28
鎌田 元一	人文学部	助教授	海外研修旅行	韓国	朝鮮古代遺跡の研究	53. 7. 29 } } 53. 8. 20
黒田 重靖	工学部	助手	外国出張	アメリカ	非ベンゼン系芳香族化合物の合成と物性に関する研究	53. 7. 30 } } 54. 7. 29

## 学内レクリエーション

### ▶ バレーボール大会

実施月日 7月1日(土) 13時  
場 所 第2体育館  
成 績 優勝 工学部チーム  
次 勝 経済・図書・短大チーム

## 訃 報

### 教育学部教授 吉田博氏逝去

教育学部教授吉田博氏は、肝腎症候群のため、7月18日逝去されました。

享年58才

ここに御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

吉田教授は、昭和18年9月広島文理科大学教育学科を卒業、同年10月兵役、同20年10月富山県涉外事務局勤務、同24年10月富山大学講師として着任され、同時に富山師範学校講師を兼任、同27年5月富山大学助教授、同47年12月同教授に昇任された。

この間、28年有余にわたり終始懇篤なる温情をもって学生の教育に当り数多くの教育者を育成し実社会に送り出した。

専門である教育心理学及び発達心理学に関する研究論文も多数発表している。

一方同教授の学識が高く評価され、富山県地方労働委員、乳幼児教育振興研究協議会等を兼ね本学内外における教育上、学術上並びに地域社会に多大な貢献をなされた。

## 職 員 消 息

### 〈新任者〉

#### 教育学部

助 教 授 宇井 啓高  
教 諭 稲垣 千鳥  
文部事務官 道林 一郎

#### 工学部

技能補佐員 川口 幸子

#### 教養部

事務補佐員 丸 美香子

## 主 要 日 誌

### 本 部

- 7月1日 昭和53年度部局対抗バレーボール大会  
7日 第3回入試管理委員会  
7～8日 昭和54年度大学入学者選抜共通第1次学力試験実施担当者会議(於 一橋講堂)  
9日 北陸四大学学生総合体育大会  
11日 国立大学等の教官等の発明に係る特許等の取扱いに関する説明会(於 農林年金会館)  
14日 構内交通対策委員会  
金沢大学辰の口共同研修センター運営協議会(於 金沢大学)  
18日 第4回入試管理委員会  
21日 第5回評議会  
24日 構内交通指導員の打合せ会  
24～25日 第3回富山県高等教育機関整備懇談会  
25～26日 給与実務担当者研修会(於 福井大学)  
27日 レクリエーション委員会  
28日 昭和53年度文部省共済組合北陸地区共同事業体育大会

### 文 理 学 部

7月15日 授業終了

### 人 文 学 部

7月5日 教授会  
12日 教務委員会

### 教 育 学 部

- 7月5日 教務委員会  
紀要編集常任委員会  
教授会  
人事教授会  
7～8日 日本教育大学協会北陸地区第二部会  
美術部門研究協議会(於 富山大学)

- 10日 特別教職課程委員会  
 12日 紀要編集委員会  
 13日 予算委員会  
 14日 日本教育大学協会附属学校委員会（於 東京学芸大学）  
 17日 教務委員会  
 附属幼稚園第一学期終業式  
 19日 補導委員会  
 教授会  
 人事教授会  
 21日 附属中学校第一学期終業式  
 22日 附属小学校第一学期終業式  
 附属養護学校第一学期終業式  
 24日 特別教職課程委員会  
 26日 人事教授会

### 経済学部

- 7月1日 第3回日本海経済研究所運営委員会  
 5日 第8回人事教授会  
 財務委員会・学部図書委員会・日本海経済研究所運営委員会三者合同会議  
 11日 第2回財務委員会  
 12日 第9回人事教授会  
 第7回教務委員会  
 第7回教授会  
 17日 第4回日本海経済研究所運営委員会  
 19日 前学期授業終了  
 24日 第3回財務委員会  
 25日 第10回人事教授会  
 26日 第8回教務委員会  
 第8回教授会

### 理学部

- 7月3日 立山研究室運営委員会  
 12日 教授会  
 人事教授会  
 大学院理学研究科委員会

### 薬学部

- 7月17日 共通機器委員会

- 19日 教授会

### 工学部

- 7月4日 教務委員会  
 5日 教授会  
 専任教授会  
 工学研究科委員会  
 13日 夏季休業  
 14日 学科主任会議  
 19日 工学部構内交通対策委員会  
 教授会  
 27日 工学部移転推進委員会

### 教養部

- 7月3日 内地、在外研究員に関する委員会  
 5日 講演会 演題 鉄—その物性と人間生活  
 講師 金沢大学教授 竹村松男  
 特昇その他給与に関する委員会  
 教務委員会  
 8日 予算委員会  
 12日 教授会  
 15日 金沢大学教養部との交換野球（於 金沢大学）

### 附属図書館

- 7月12日 事務打合せ会  
 20日 商議会  
 31日 商議会

### 経営短期大学部

- 7月4日 第6回教授会（持ち回り）  
 19日 第1回入試委員会  
 夏季休業  
 20日 第7回教授会

編集 富山大学庶務部庶務課  
富山市五福3190  
印刷所 第一共同印刷株式会社  
富山市太郎丸1220-2  
電話 ☎ 0196(代)